

## 令和6年度 地理歴史科 「日本史研究」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3年A～D組 選択者
教科書	詳説 日本史探究 (山川出版社)	副教材等	最新日本史図表(第一学習社)

## 1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を以下の(1)～(3)に基づいて育成する。

(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の成立	江戸幕府の成立  幕藩体制  江戸時代初期の外交	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・グループワーク</li> <li>・提出課題</li> <li>・授業への参加</li> </ul>
	5		幕藩社会の構造  幕政の安定	身分と社会  元禄時代  経済の発展	
	6		第1回考査		
	7	幕藩体制の動揺	元禄文化	元禄文化(学問含む)  享保の改革以降の政治史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・グループワーク</li> <li>・提出課題</li> <li>・授業への参加</li> </ul>
	8		幕政の改革		
	9		元禄文化	宝暦・天明期の文化	
	8	近世から近代へ	幕府の衰退と近代への道	寛政の改革以降	
	9		開国と幕末の動乱	開港とその影響	
			第2回考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	近代国家の成立	幕府の滅亡と新政府の発足	幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・グループワーク</li> <li>・提出課題</li> <li>・授業への参加</li> </ul>
			明治維新と富国強兵	新政府の政治・殖産興業	
	11	近代国家の展開	立憲国家の成立	自由民権運動 大日本帝国憲法の制定	
			日清・日露戦争と国際関係	条約改正、三国干渉、韓国併合	
後期	12	近代産業の発展	第一次世界大戦と日本	大正政変、大陸進出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・グループワーク</li> <li>・提出課題</li> <li>・授業への参加</li> </ul>
			ワシントン体制	パリ講和会議	
	1	恐慌と第2次世界大戦	経済史	近代経済史	
		高度経済成長の時代	恐慌の時代	社会主義運動と積極外交への転換	
			第2次世界大戦	第2次世界大戦と敗戦 初期占領政策	
			55年体制	冷戦構造の世界	

### 3 評価の観点

知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。本の歴史的な事象について多角的、多面的に考察しているか。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

おもに定期考査によって、知識・技能および思考・判断・表現について評価します。主体的に学習に取り組む態度については提出物や課題の取り組み状況によって評価します。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）